

## 2014 年 8 月 3 日に口永良部島の新岳で発生した噴火について\* Kuchinoerabujima Shindake volcanic eruption occurred on August 3, 2014

防災科学技術研究所\*\*

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

### 1. はじめに

2014 年 8 月 3 日 12 時 24 分頃、口永良部島の新岳で噴火が発生した。防災科研は、口永良部島の 2 カ所に基盤的火山観測施設を建設中(第 1 図)で、噴火発生時は古岳西火山観測施設(KCFV)にてボーリング孔の掘削作業中であった。観測施設には広帯域地震計、GNSS はすでに設置済で観測を開始しており、その観測記録について報告する。

噴火発生 of 5 分ほど前から、広帯域地震計には火口付近で発生したと思われる地震活動と火山性微動が観測された(第 2 図)。また噴火発生時の 12 時 25 分頃には大きな振幅の低周波地震と 1hPa 程度の空振が観測された(第 3 図)。

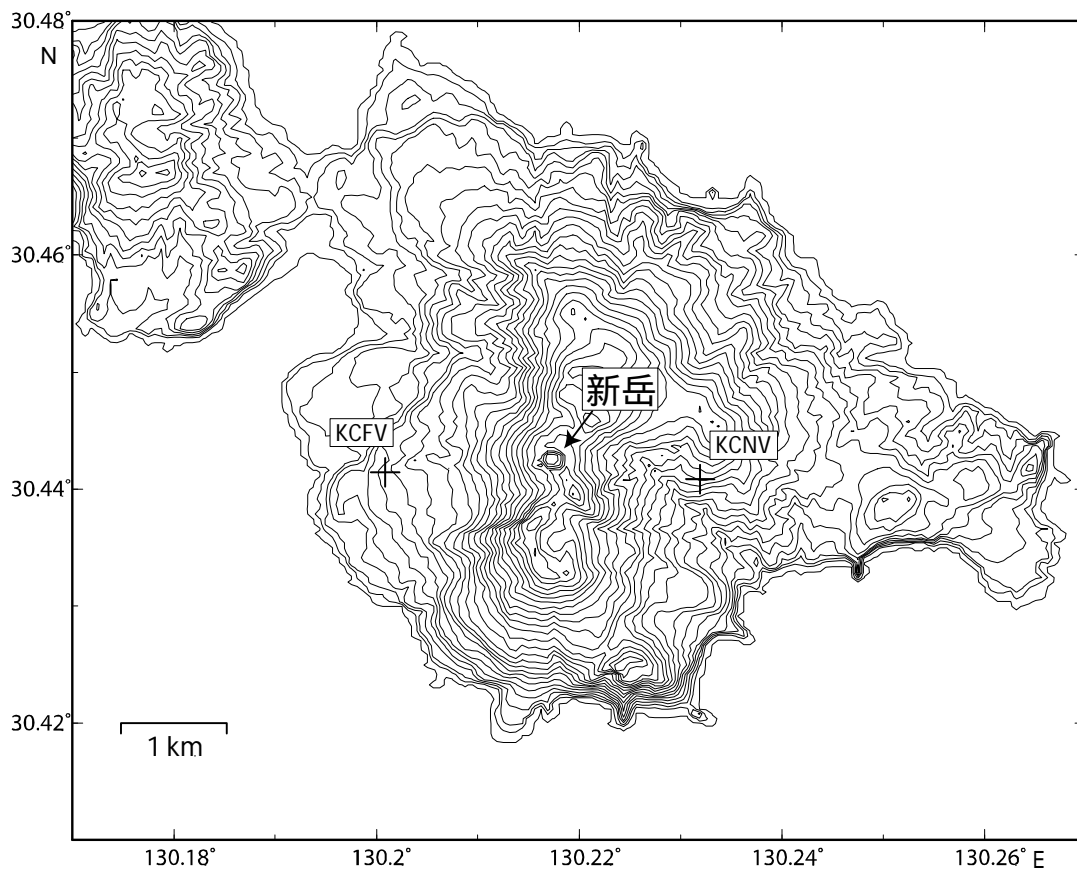
GNSS には噴火前後に火山活動に関連すると考えられる地殻変動は観測されていない。

---

\* 2014 年 12 月 12 日受付

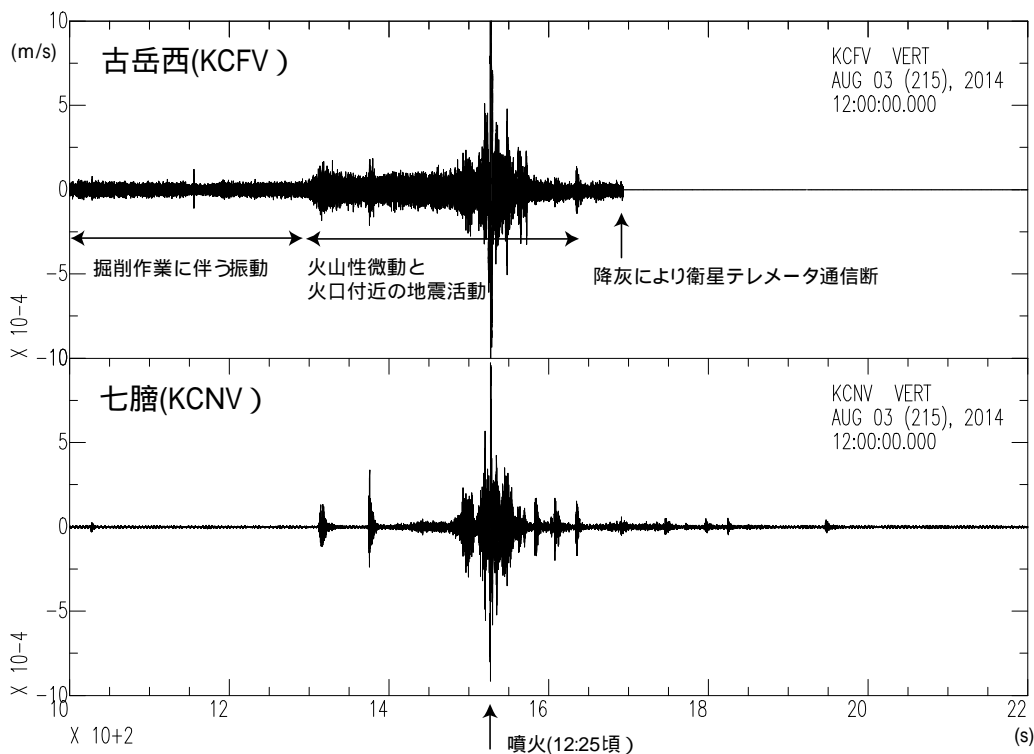
\*\* 上田英樹, 棚田俊收, 長井雅史

Hideki Ueda, Toshikazu Tanada, Masashi Nagai



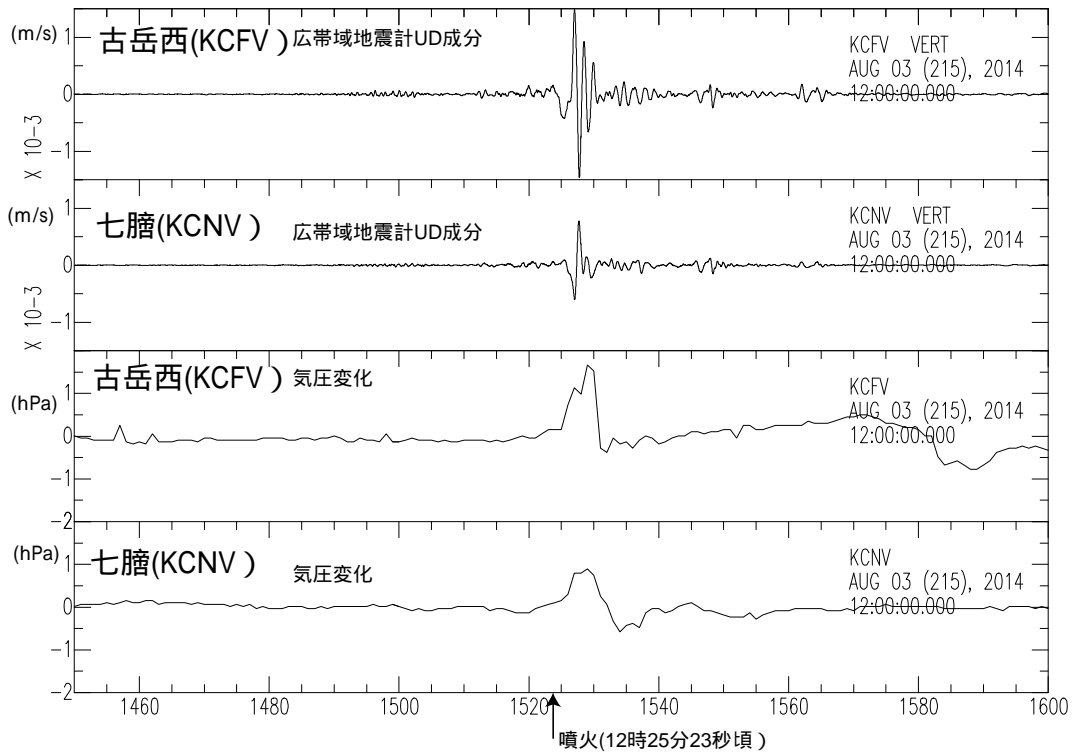
第1図 建設中の口永良部島七釜(KCNV)と古岳西火山観測施設(KCFV)の位置。この地図の作成にあたっては、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。

Fig.1 Construction position(KCFV and KCNV) in Kuchierabujima.



第2図 広帯域地震計(Trillium240)の上下動成分の記録。

Fig.2 Seismic-record (UPcomponent) of Broadband Seismometer (Trillium240).



第3図 広帯域地震計の上下動成分(0.01Hz-1Hz のバンドパスフィルタを適用)と気圧計(1Hz サンプリング)の記録。

Fig.3 UPcomponent record of Broadband Seismometer (band pass filter of 0.01Hz-1Hz) and barometer record (1Hz sampling).